



2017年度 第1四半期 決算説明資料

Sapporo Group Business Results Presentation
for the Three Months Ended March 31, 2017

2017年5月11日

URL <http://www.sapporoholdings.jp>

2017年第1四半期 ハイライト

First-Quarter 2017 Highlight

	16年1Q	17年1Q	増減 (額/率)	
			増減 (額)	増減 (率)
売上高 (酒税込み)	1,113 億円	1,177 億円	63 億円	5.7%
売上高 (酒税抜き)	888 億円	949 億円	60 億円	6.8%
売上高海外比率 (酒税抜き)	23.4 %	23.5 %	0.2	-
営業利益	▲14 億円	▲14 億円	▲0 億円	-
営業利益 (のれん償却前)	▲4 億円	▲4 億円	▲0 億円	-
経常利益	▲22 億円	▲19 億円	3 億円	-
親会社株主に帰属する当期純利益	▲20 億円	▲23 億円	▲3 億円	-
金融負債残高 ※Net	2,275 億円	2,239 億円	▲36億円	▲1.6%
D/Eレシオ ※Net	1.5 倍	1.4 倍	▲0.1	-
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却費)	50	53	3	6.1%

63億円増収も、営業利益は前年並みで着地

売上高
Sales
1,177

前年同期比
YoY Change
+63

- ✓ 強みのある領域で確実な成長
(アビス・黒ラベル・北米エリア・レモン・銀座ライオン・YGP等)

※YGP:恵比寿ガーデンプレイス

営業利益
Operating income
▲14

前年同期比
YoY Change
▲0

- ✓ 売上は成長、商品ミックスも改善
- ✓ ブランド強化に向けた投資を先行

親会社株主に帰属する
当期純利益
Profit attributable to
owners of parent
▲23

前年同期比
YoY Change
▲3

- ✓ 営業利益以下に重要な差異要因はなく、
前年同期比で3億円の減益

全事業増収 投資先行の国内酒類など3事業で減益



国内酒類事業
Japanese Alcoholic
Beverages



国際事業
International



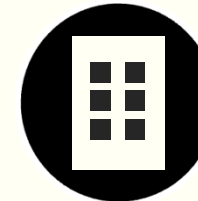
食品・飲料事業
Food & Soft Drinks



外食事業
Restaurants



不動産事業
Real Estate



売上高
Sales

+13

+12

+13

+6

+5

営業利益
Operating income

▲1

+1

▲0

▲1

+3

2017年度第1四半期 事業概況

First-Quarter 2017
Overview by
Business Segment

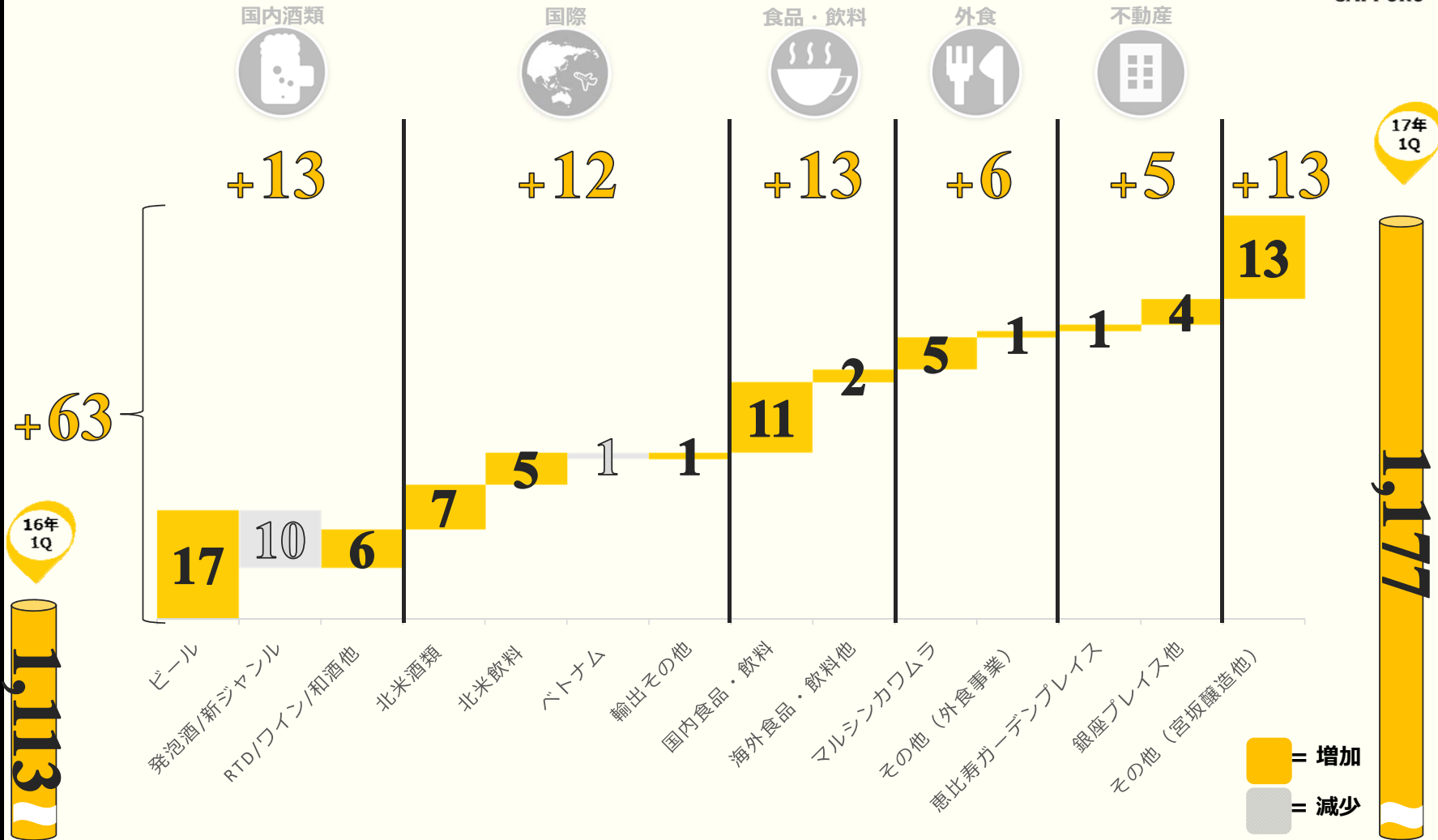
セグメント別売上高
Net Sales by Segment

	16年1Q	17年1Q	前年同期比 (額/率)	
連結売上高	1,113	1,177	63	5.7%
国内酒類事業	531	544	13	2.5%
国際事業	154	166	12	7.8%
食品・飲料事業	302	315	13	4.4%
外食事業	57	64	6	11.4%
不動産事業	53	59	5	9.7%
その他	14	27	13	94.8%



売上高は、各事業の主力商品・サービスで成長

売上高
増減の主な要因
Main Factors
Contributing to Changes
in Net Sales





SAPPORO

	16年1Q	17年1Q	前年同期比
連結営業利益	▲14	▲14	▲0
国内酒類事業	▲18	▲19	▲1
国際事業	▲3	▲2	1
食品・飲料事業	▲6	▲6	▲0
外食事業	▲1	▲2	▲1
不動産事業	26	29	3
その他	▲0	▲0	0
全社	▲9	▲11	▲1
のれん償却費	9	9	0
国際事業	4	4	0
食品・飲料事業	5	5	0
のれん償却前営業利益	▲4	▲4	▲0

セグメント別営業利益
Operating Income by Segment

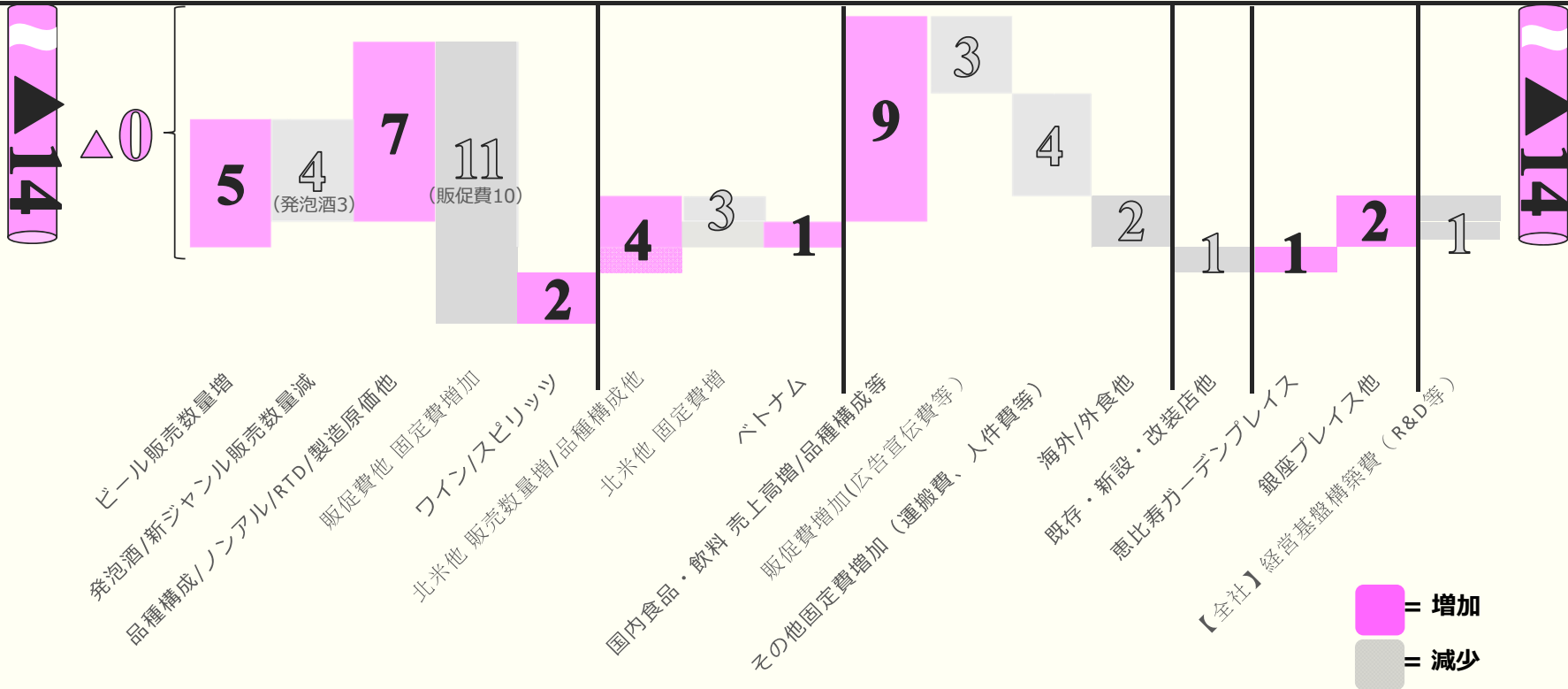


SAPPORO

営業利益は、ブランド強化等で固定費が増加し前年並み



**営業利益
増減の主な要因**
Main Factors
Contributing to Changes
in Operating Income



■ = 増加
■ = 減少

各事業の概況



国内酒類事業

Japanese Alcoholic Beverages

売上高 Sales **544** 前年同期比 YoY Change **+13**



営業利益 Operating income **▲19** 前年同期比 YoY Change **▲1**



(参考) ※推定

総需要 Total demand :
 ビール 99%
 発泡酒 99%
 新ジャンル 101%

1Qからビールへのブランド投資を実施



Positive

- ✓ **黒ラベル、エビス（華みやび発売）を中心に積極的なブランド投資**
ビールは成長モメンタム継続

(黒ラベル 売上数量 前年同期比**101%**、エビス **111%**、ビール合計 **105%**)

- ✓ **ビール構成比が上昇、品種構成改善**

(ビール類におけるビールの構成比 前年同期**57%**⇒今期**60%** 品種構成改善により+**3**億円)

- ✓ **ファインワインやRTDなど、多層化が好調に推移**

(ワイン事業 売上高 前年同期比**104%**、スピリッツ事業**115%**)

Negative

- ✓ **発泡酒・新ジャンルは前期割れ**

(麦とホップブランド 前年同期比**99%** 極ゼロブランド **70%**)

⇒麦とホップの「ゼッタイもらえる！」キャンペーンや、5月発売の「極キン！缶」などで最盛期に向けてテコ入れ

http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021576/index.html

http://www.sapporobeer.jp/news_release/0000021562/index.html



※Appendix P26~P29を参照

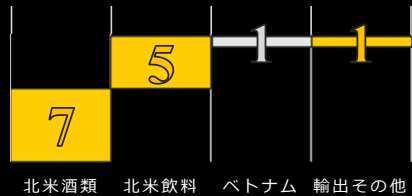
(単位：億円) Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved. 11/40



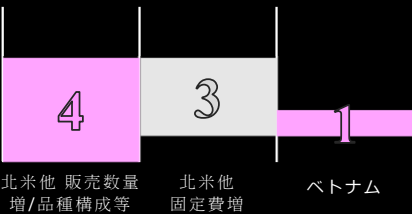
国際事業

International

売上高 Sales **166** 前年同期比 YoY Change **+12**



営業利益 Operating income **▲2** 前年同期比 YoY Change **+1**



(参考) ※推定

総需要 Total demand : カダビール 98%程度
アメリカ(〃) 98%程度

北米ビールは順調 飲料はCPF社が牽引 ベトナムは苦戦



SAPPORO

Positive

- ✓ 北米はブランド投資や人的投資を行い、成長を続ける
(スリーマン社 売上数量 前年同期比**103%**、サッポロUSA社 サッポロブランド **110%**)
- ✓ CPF社はフードサービスやCo-Packが好調
リッジフィールズ (シャーベット事業) も収益へ貢献
- ✓ 韓国を中心とした輸出が堅調に推移
(韓国向け輸出は**3**割近く増加)

Negative

- ✓ ベトナムは販促費抑制で増益も、売上は大幅に前期割れ
⇒ 様々な構造改革に取り組んでいる過渡期であり、
営業体制の見直し、効率的な販促投資や、
稼働率向上に向けた最適なグローバルサプライチェーンの検討などを進める

※CPF: Country Pure Foods

※Appendix P30~P31を参照

(単位: 億円) Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved. 12/40

レモンや茶系飲料が好調

Positive

- ✓ **強みのレモンは飲料、食品ともに大幅伸長**
(レモン飲料 売上数量 前年同期比**116%**、レモン食品 **106%**)
- ✓ **国産素材の茶系飲料による差別化戦略が奏功**
(茶系飲料 売上数量 前年同期比**119%**)
- ✓ **その他飲料やスープ、カフェ業態も順調に推移**
(スープ 売上数量 前年同期比**105%**、ポッカクリエイト社 売上高 前期比**107%**)
- ✓ **昨年導入のアセプティックラインによるコスト改善効果**
(年間**5**億円の見込み) ⇒飲料の最盛期に向けて、効果を顕在化させていく

Negative

- ✓ **物流費や人件費、広告費などのコストが増加**
⇒広告費や人件費については、計画との大きな乖離はない
高騰している物流費は、種々のコスト削減策でカバーしていく

※Appendix P32~P35を参照

※総需要：飲料総研、インテージSRIレモン食品市場（自社定義）
インスタントスープ市場SM、CVS業態計 2017年1~3月 累計販売金額前年比

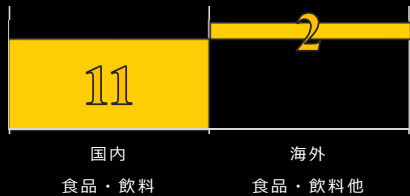
(単位：億円) Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved. 13/40



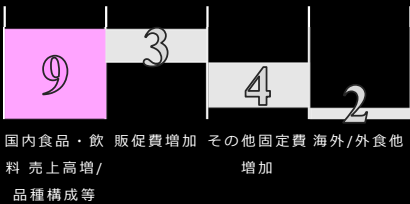
食品・飲料事業

Food & Soft Drinks

売上高 Sales **315** 前年同期比 YoY Change **+13**



営業利益 Operating income **▲6** 前年同期比 YoY Change **▲0**



(参考) ※推定

総需要 Total demand : 国内飲料 101%
レモン食品 101%
インスタントスープ 104%



SAPPORO

売上は堅調も、人件費等の固定費負担増で減益

Positive

✓ サッポロライオン単体の売上は堅調

(既存店売上高 前年同期比100%)

✓ 昨年買収のマルシカワムラ社も順調に推移

(16年6月より連結のため、売上高約5億円は純増)

✓ 新規店が快調な滑り出し

(エビスバー 広島店・新横浜店→P37参照)

Negative

✓ 採用難の影響などから、人件費が増加傾向

⇒水光費などのコスト削減、店舗改廃などで収益性を確保していく

✓ ライオン銀座七丁目店がリフレッシュ改装により休業

(1月10日～2月28日までの休業による売上減の影響)

※Appendix P36～P37を参照

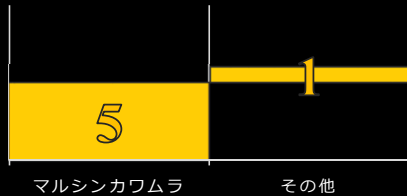
(単位：億円) Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved. 14/40



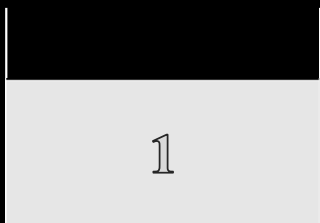
外食事業

Restaurants

売上高 Sales **64** 前年同期比 YoY Change **+6**



営業利益 Operating income **▲2** 前年同期比 YoY Change **▲1**



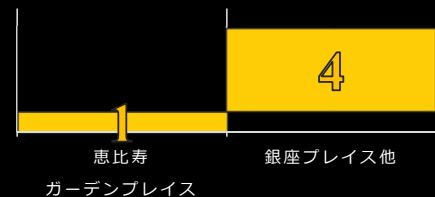
既存店
新設・改装店他



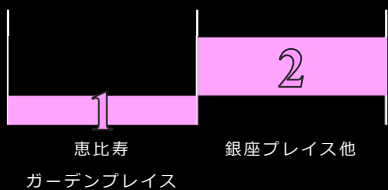
不動産事業

Real Estate

売上高 Sales **59** 前年同期比 YoY Change **+5**



営業利益 Operating income **29** 前年同期比 YoY Change **+3**



主力物件の安定稼働で収益貢献



SAPPORO

Positive

- ✓ 恵比寿ガーデンプレイス（YGP）は安定した稼働率を維持
(1~3月累計 オフィス稼働率**99%**)
- ✓ 昨年9月開業のGINZA PLACE（銀座プレイス）が収益貢献
- ✓ サッポロファクトリーを中心とした札幌の物件も増益

Negative

- ✓ YGPの一部テナント退去も影響は軽微
⇒すでに入居予定があり、年初計画通り推移

※Appendix P38~P39を参照

(単位：億円) Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved. 15/40

グループ会社2社の連結期間差異要因あり 為替の影響は軽微



<決算特殊要因（前年同期比）>

（－：軽微）

事業セグメント	内容	売上高影響	営業利益影響
外食事業	（株）マルシンカワムラ 2016年6月連結開始	約5億円	-
その他	宮坂醸造（株） 2016年10月連結開始	約14億円	-

決算特殊要因

Special factors
in the business results

<為替の影響（為替換算による影響）>

（－：軽微）

	16年1Q	17年1Q
US \$	¥115.33	¥113.60
EUR	¥127.11	¥121.05
CAN \$	¥83.97	¥85.83
SG\$	¥82.18	¥80.23

	売上高影響	営業利益影響
国内酒類事業	-	-
国際事業	-	-
食品・飲料事業	-	-

営業外損益、特別損益に重要な差異要因なし

	16年1Q	17年1Q	増減	増減要因
営業利益	▲14	▲14	▲0	-
金融収支	▲3	▲3	0	-
その他の営業外損益	▲5	▲2	3	為替差損益等
経常利益	▲22	▲19	3	-
固定資産売却益	0	0	▲0	-
その他特別利益	0	0	▲0	-
固定資産売却除却損	▲2	▲2	▲0	-
減損損失	▲0	▲1	▲1	-
その他特別損失	▲2	▲2	1	-
税引前利益	▲26	▲23	3	-
法人税等・非支配株主損益	5	0	▲4	前年同期：組織再編等の特殊要因あり
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲20	▲23	▲3	-

特別損益等の概要

Changes in Extra Ordinary
Gains and Losses

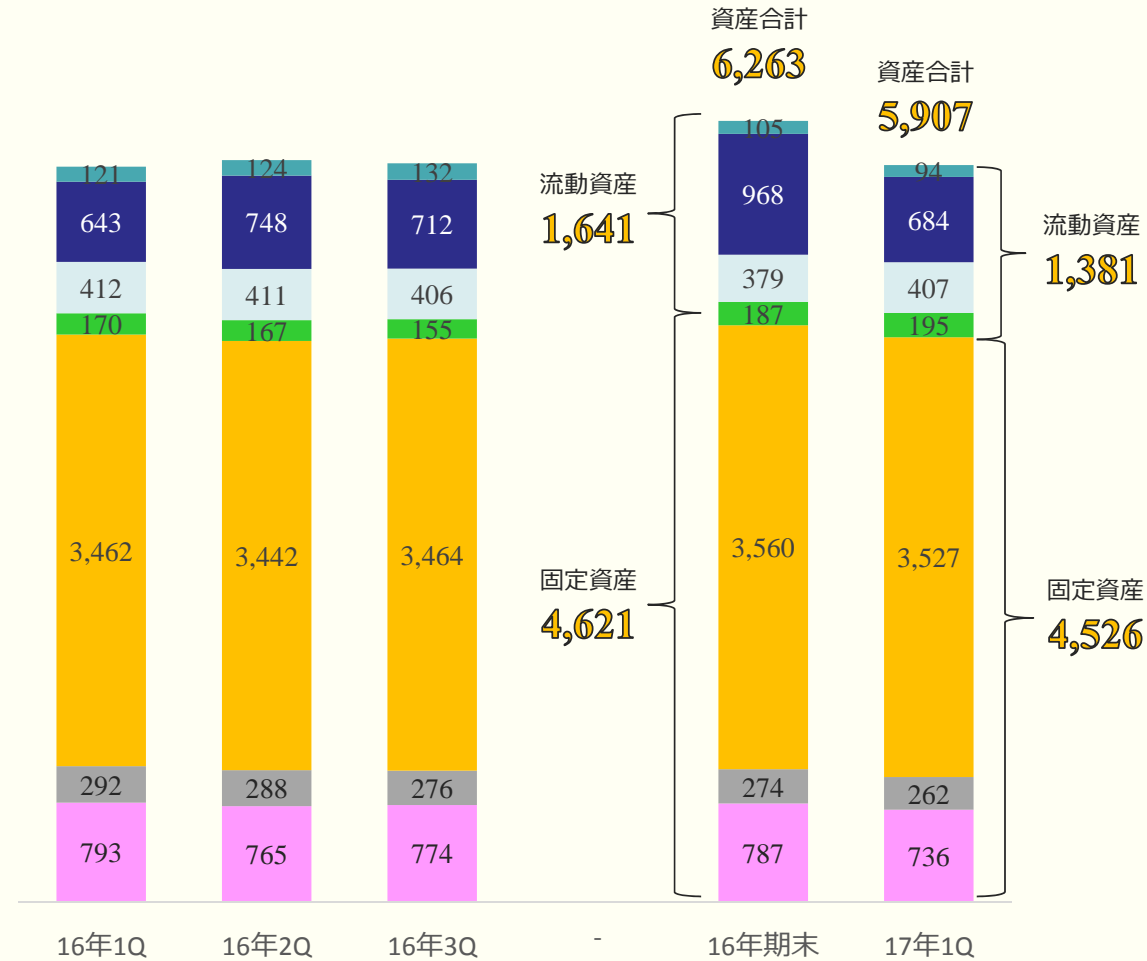


SAPPORO

資産合計は前期末対比で355億円の減少

<16年期末との主な差異要因>

- 現預金
- 売上債権
→ 季節要因・銀行休業日の影響等
- 棚卸資産
- 流動資産その他
- 固定資産
- のれん
- 投資等

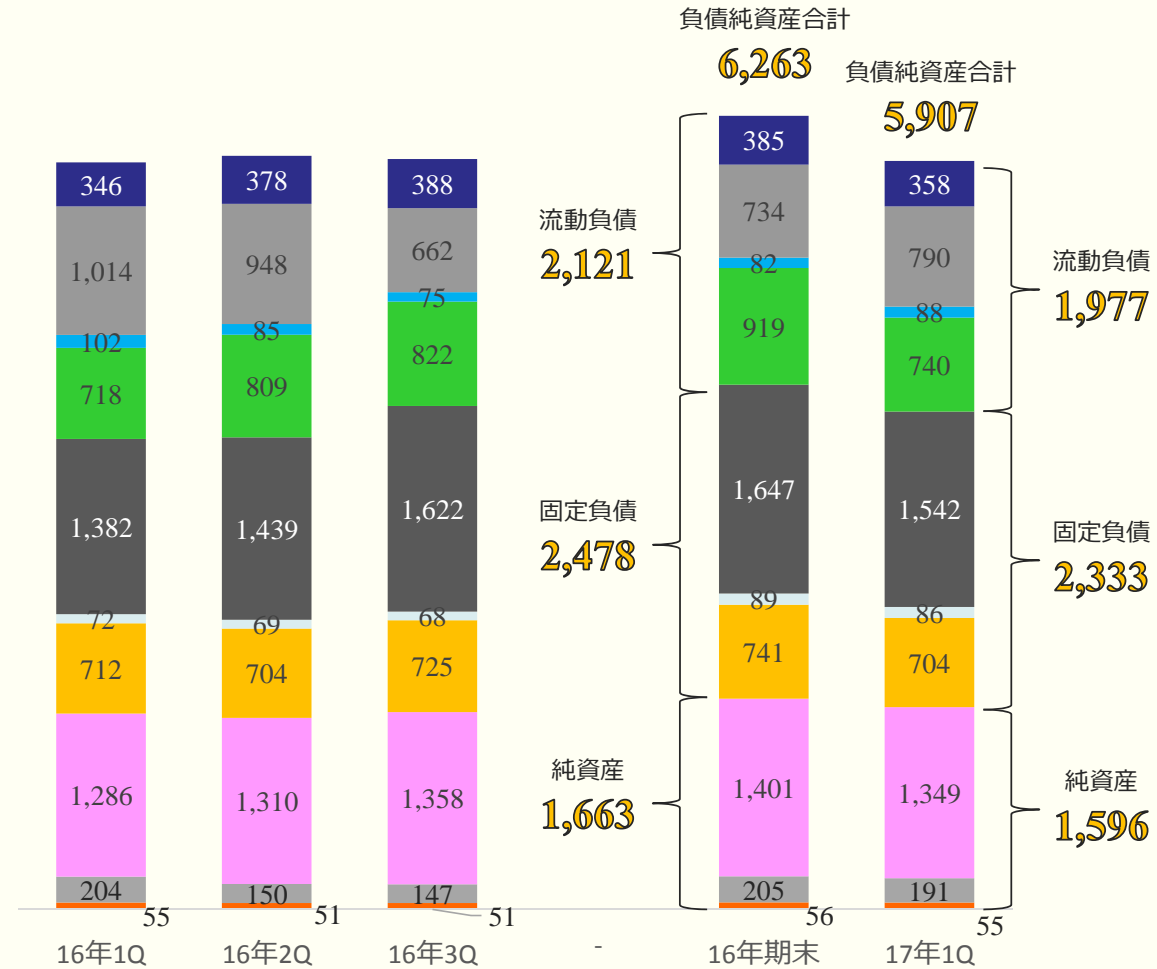


貸借対照表の状況
Changes in Balance sheets

負債合計は前期末対比で287億円の減少 純資産合計は67億円の減少

<16年期末との主な差異要因>

- 仕入債務
- 短期金融負債
- 預り金
- 流動負債その他
→未払酒税の減少
- 長期金融負債
→社債の1年内償還予定社債への振替
- 退職給付に係る負債
- 固定負債その他
- 株主資本
→四半期純損失及び配当金支払
- その他の包括利益累計額
- 非支配株主持分



貸借対照表の状況

Changes in Balance sheets

金融負債残高
Balance of Net debt **2,239**億円

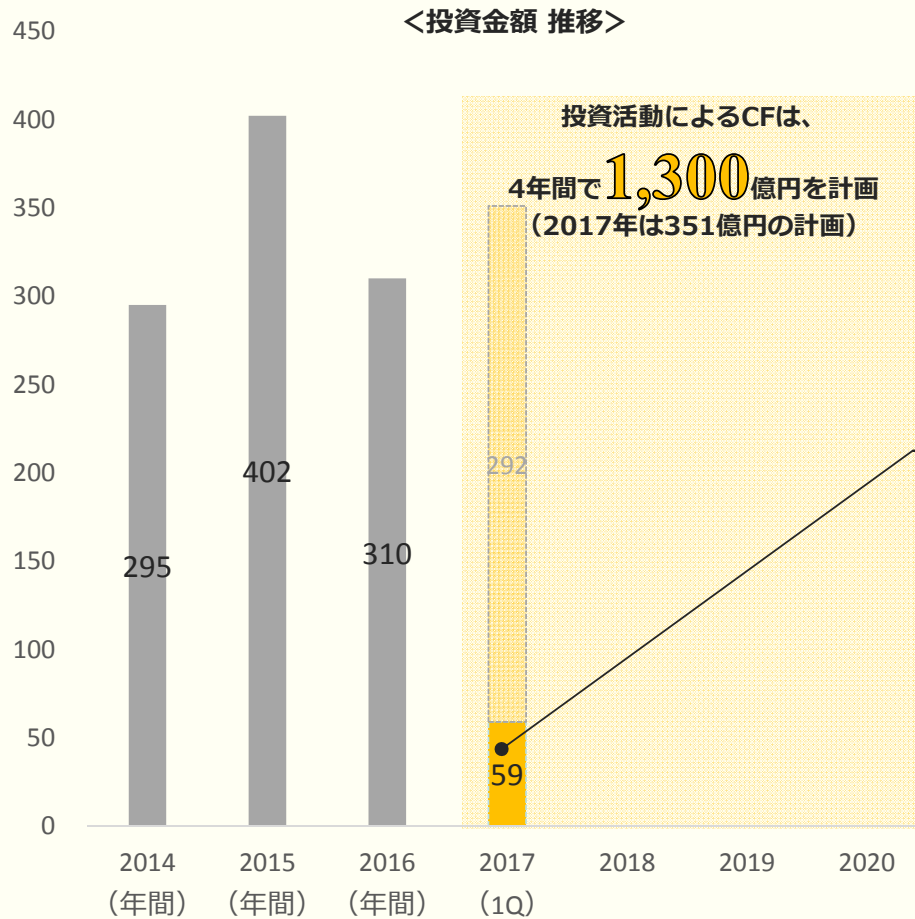
(前期末差異) ▲ **36**億円

(前年同期差異) ▲ **36**億円

D/Eレシオ
D/E ratio **1.4**倍

※Net

支払ベースの投資額は59億円



① <設備投資・リース料> 連結合計で約**50**億円
(有形固定資産・無形固定資産・リース料 等)

<主な内訳>

- ・『酒』『食』『飲』関連：約20億円
(那須工場ワンウェイ瓶対応工事等)
- ・不動産関連：約12億円
(YGPバリューアップ等)
- ・SGM社 グループインフラ最適化等：約7億円
※SGM社:サッポログループマネジメント株式会社

② <その他投資> 連結合計で約**8**億円
(長期前払費用・子会社株式・投資有価証券 等)

<主な内訳>

- ・長期前払費用 (国内酒類/食品・飲料) 約5億円

①+② <2017年第1Q 投資実績 合計>
(支払ベース/経常設備投資・リース料含む)

約**59**億円

中期経営計画で定めた基盤機能強化に着手

R & D

「おいしさ技術研究所」の新設

- ・グループR&D本部傘下に設置（横浜市港北区）
- ・食品加工技術、素材技術開発、おいしさ開発の研究を強化

人事・人財

働き方改革への積極的な取組み

- ・新制度導入に向けた検討
- ①インターバル制度、②チーム（ペア）制度、③テレワーク
- ④時間有給休暇、⑤スーパーフレックス

財務

資産効率向上のためのアセット見直し

- ・政策保有株式の見直しに向けた具体策を策定

コミュニケーション

コーポレートコミュニケーション部と グループCSR部の統合

- ・長期経営ビジョン「SPEED150」に掲げる「コーポレートコミュニケーション強化」に向けた戦略的組織再編

グループ経営基盤
の变革

Transformation of the Group
management platform

- ✓ 2月27日 「SBL88乳酸菌」による肌の保湿向上機能を確認！
～ サッポロの乳酸菌のうれしい機能 ～



- ✓ 3月21日 クエン酸による小腸からのカルシウム吸収促進作用とそのメカニズムを解明！
～ レモンの機能成分“クエン酸”キレート作用”のさらなる研究 ～

- ✓ 3月21日 レモン飲料における、味、香りの特長とおいしさとの関係性を確認！
～ 「おいしさ」などの感覚を数値化し、新商品開発に応用 ～ (①)

- ✓ 3月27日 レモンポリフェノール長期摂取による老化度抑制を確認
～ レモン健康機能の新たな確認 ～



①：研究を活かして開発された「レモンの雫」

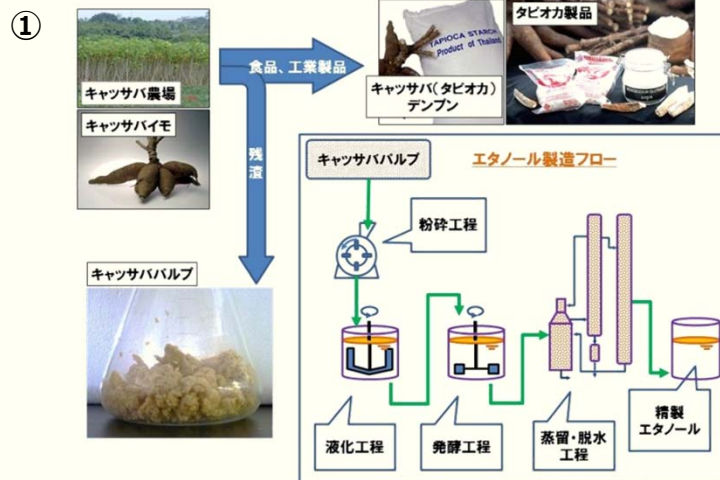
※日付はリリース日
 ※詳細は以下ニュースリリースより
<http://www.sapporoholdings.jp/csr/news/index.html>

- ✓ 1月10日 世界初(当社調べ)、キャッサバパルプを用いたバイオエタノール製造プラント
 実用化へ向けた製造技術の提供およびプラント設計に関するコンサルティング契約を
 タイ企業のInnotech Green Energy Company Limitedと締結
 →温室効果ガス約12万トン/年(※)の削減を目指す(写真①)
 (※東京ドーム約50杯分、当社の国内酒類事業で排出されるおよそ1年分のCO2排出量に該当)

- ✓ 2月23日 「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定！
 ～ 社員の健康を気づかう500社へ ～ (写真②)

サッポログループの 様々な取り組み

Various Initiatives
by the Sapporo Group



※日付はリリース日
 ※詳細は以下ニュースリリースより
<http://www.sapporoholdings.jp/csr/news/index.html>

Appendix : 参考資料

参考資料 Appendix

(単位：万函/大瓶換算)

国内酒類	16年1Q	17年1Q	前年 同期比
①ビール計	-	-	105%
サッポロ生ビール黒ラベル	-	-	101%
エビス計	-	-	111%
②発泡酒計	-	-	77%
③新ジャンル計	-	-	98%
ビール・発泡酒・新ジャンル計 (①+②+③)	-	-	100%
ノンアルコールビールテイスト飲料	15	15	96%

(単位：億円)

国内酒類	16年1Q	17年1Q	前年 同期比
ワイン計	28	29	104%
国産ワイン	11	11	102%
輸入ワイン	16	17	106%
スピリッツ計 (RTD・洋酒・焼酎)	59	68	115%

(単位：万函/大瓶換算)

海外ビール	16年1Q	17年1Q	前年 同期比
スリーマン社 (※1)	259	268	103%
サッポロブランド	131	146	111%



(単位：万函)

飲料水 <small>(ポッカサッポロフード&ビバレッジ)</small>	16年1Q	17年1Q	前年 同期比
飲料水 (※2)	922	962	104%

(単位：億円)

売上金額 (酒税込み)	16年1Q	17年1Q	増減
ビール	293	311	17
発泡酒	35	27	▲8
新ジャンル	102	100	▲2
合計	432	439	7

(単位：億円)

売上金額 (酒税抜き)	16年1Q	17年1Q	増減
ビール	142	152	10
発泡酒	19	15	▲4
新ジャンル	71	69	▲1
合計	233	237	4

※1：サッポロブランドを除く。
※2：国内売上のみ。(豆乳除く)

参考資料

Appendix



【ビール】 (売上数量)

- ✓ 前年同期比**105%** (総需要99%)
- ✓ 「黒ラベル」 : ブランド計 前年同期比**101%**
(缶 : ブランド計 前年同期比**112%**)
- ✓ 「アビス」 : ブランド計 前年同期比**111%**

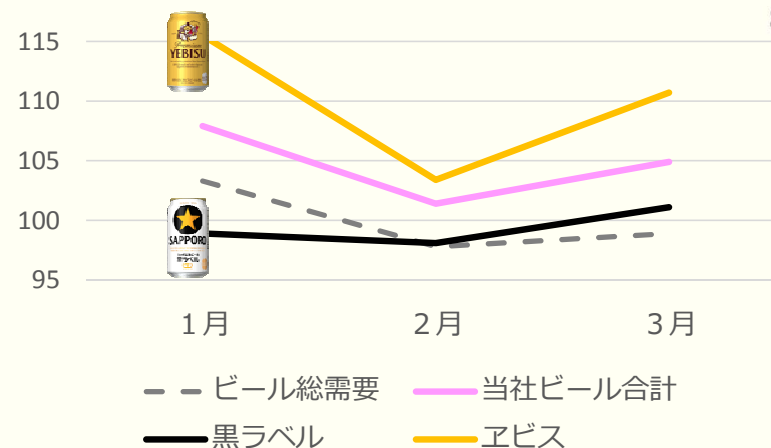
【発泡酒・新ジャンル】 (売上数量)

- ✓ 前年同期比**93%** (総需要100%)
- ✓ 「麦とホップ」 : ブランド計 前年同期比**99%**
- ✓ 「極ゼロ」 : ブランド計 前年同期比**70%**

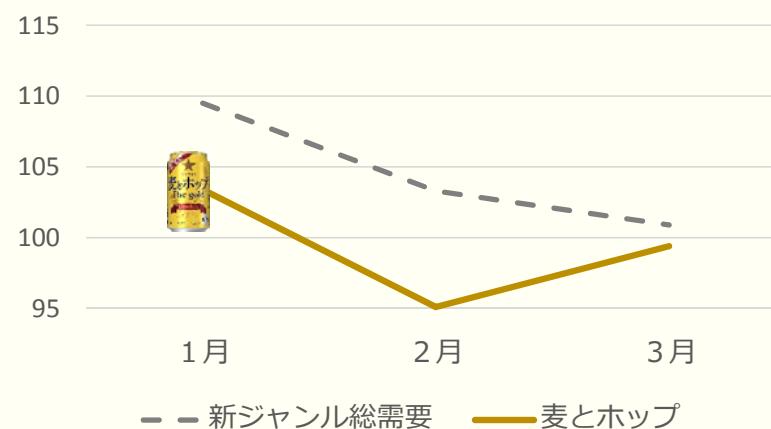
【ワイン・スピリッツ等】 (売上金額)

- ✓ ワイン事業 : 前年同期比**104%**
- ✓ RTD事業 : 前年同期比**154%**
- ✓ 洋酒事業 : 前年同期比**115%**
- ✓ 和酒事業 : 前年同期比**104%**

<黒ラベル・アビス 売上数量 前年同期比 推移>



<麦とホップ 売上数量 前年同期比 推移>



(1~3月累計)

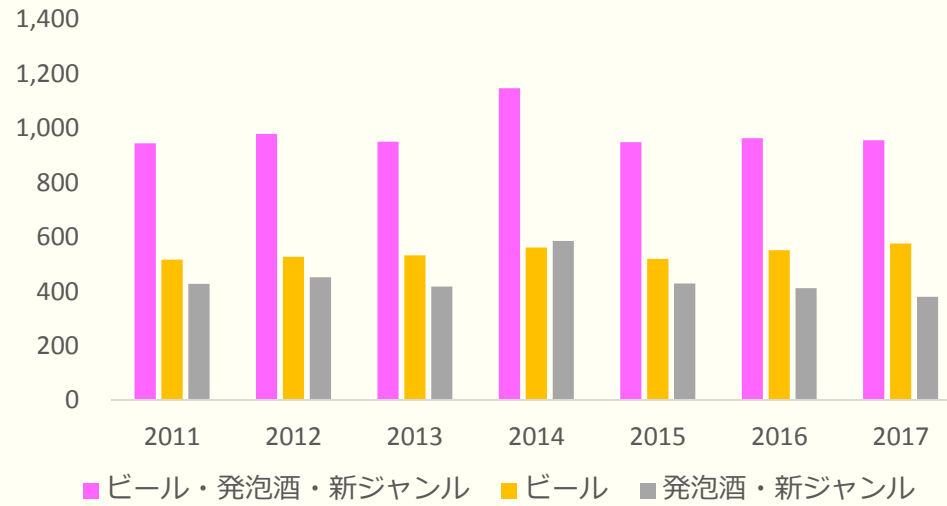
Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved.

参考資料

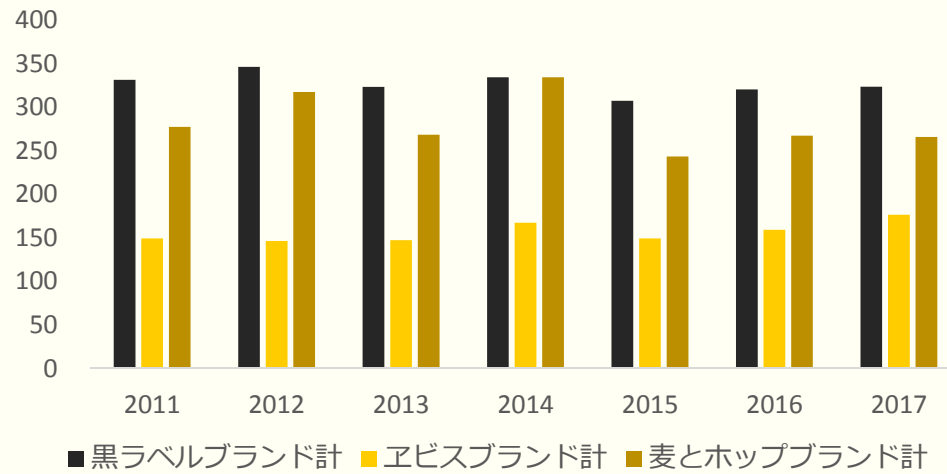
Appendix



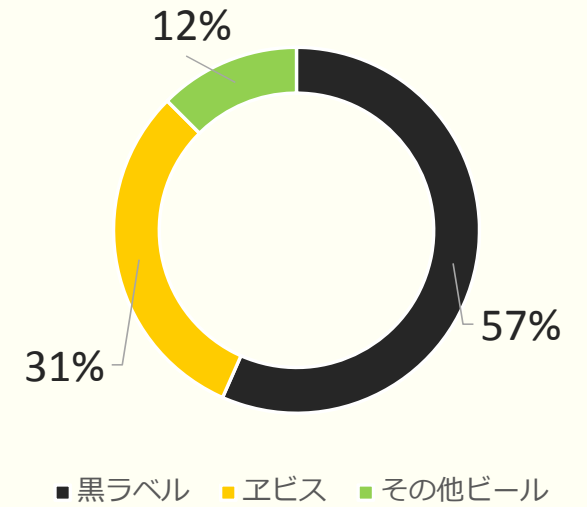
<ビール類及びビールカテゴリ 売上数量（課税出荷）推移>



<基幹3ブランド 売上数量（販売数量）推移>



<ビールカテゴリラインナップ 構成比>

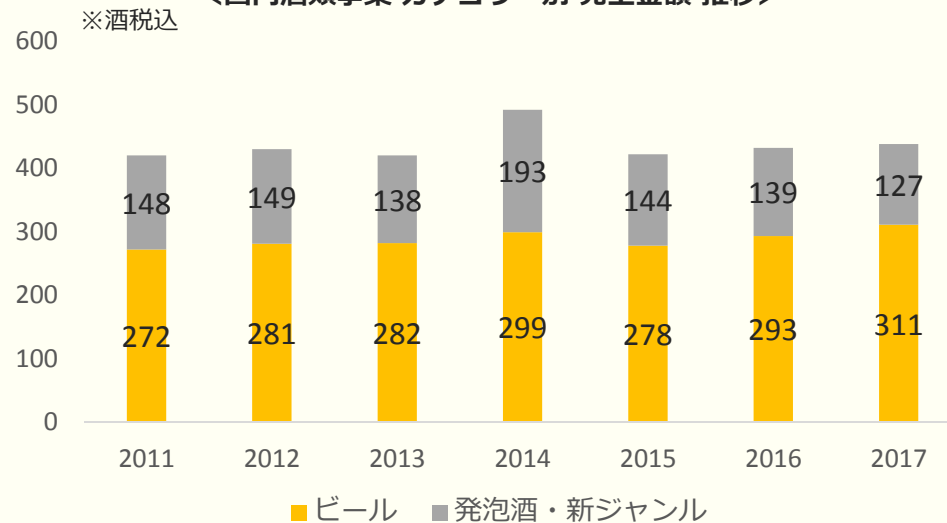


参考資料

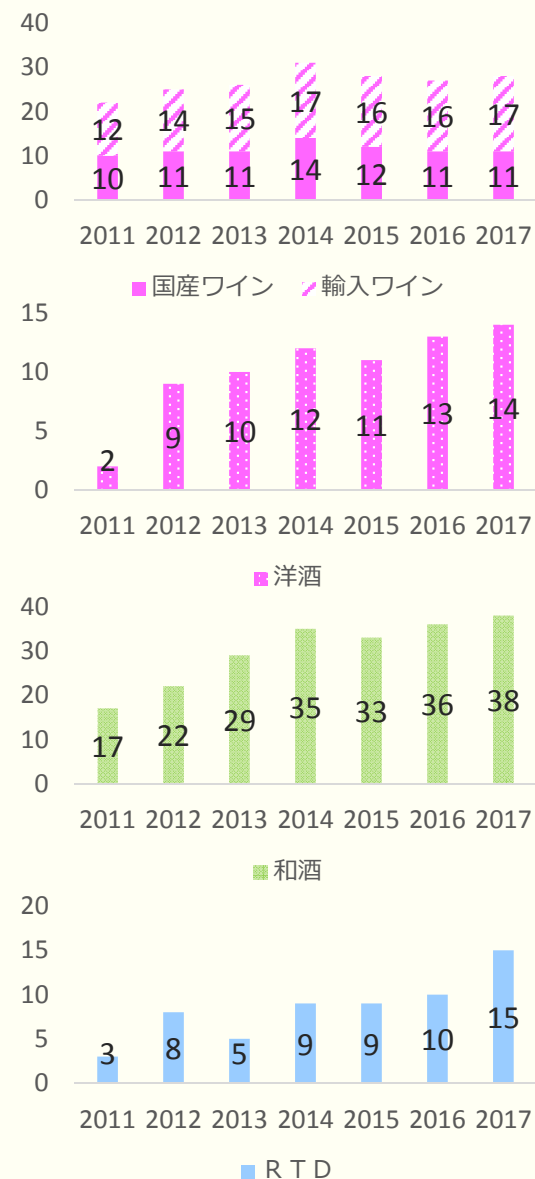
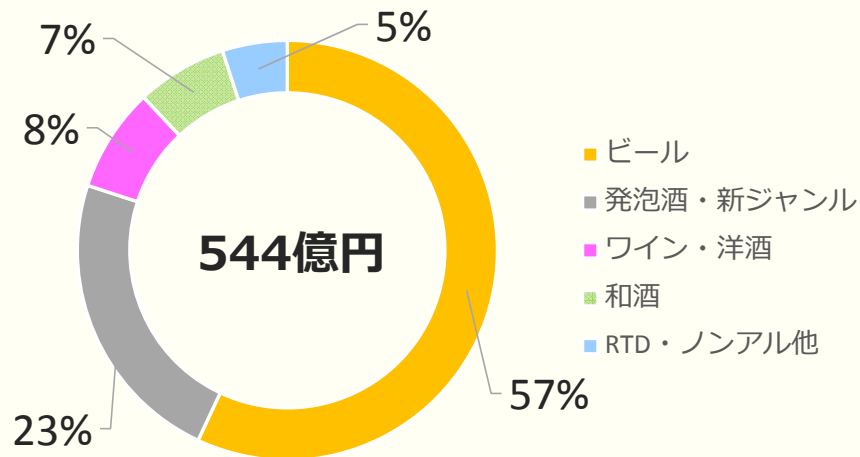
Appendix



<国内酒類事業 カテゴリ別 売上金額 推移>



<国内酒類事業 カテゴリ別 売上金額構成比>



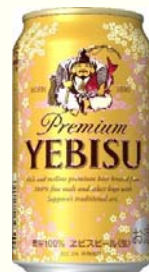
<2017年1月~3月 主な発売商品>



エビス 華みやび



エビスマイスター
リニューアル



エビス 桜デザイン缶



キレートレモンサワー
コラーゲン1000



愛のスコール
ホワイトサワー



SAPPORO

参考資料

Appendix



サッポロクラシック
春の薫り



麦とホップ The gold
桜デザイン缶



麦とホップ プラチナクリア
リニューアル



ペリート
カルメネール

「ズッカルディ」シリーズ



その他地域限定商品など



甲類焼酎「トライアングル」シリーズ リニューアル
トライアングルグリーン発売

参考資料

Appendix



【スリーマン】（「サッポロ」ブランドを除く売上数量）

✓ 前年同期比**103%**（総需要98%程度※推定）

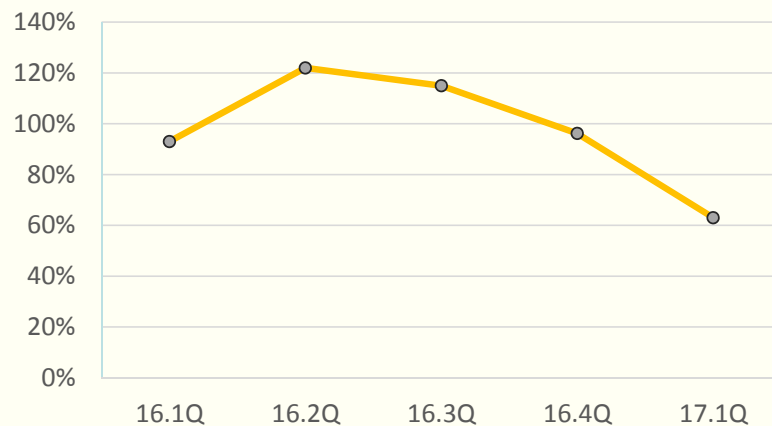
【サッポロUSA】（「サッポロ」ブランドの売上数量）

✓ 前年同期比**110%**（総需要98%程度※推定）

【ベトナム】（売上数量）

✓ 前年同期比**63%**

＜ベトナム国内 売上数量 前年同期比の推移＞

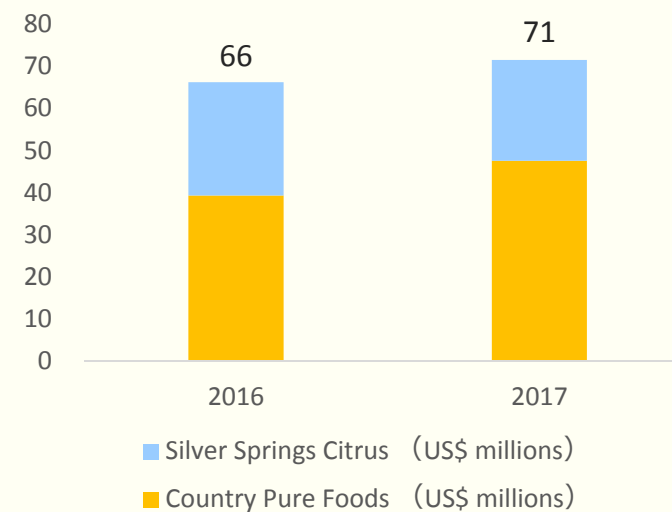


【米国飲料】（売上金額）

✓ 前年同期比**110%**



＜米国飲料 現地通貨建て売上高（連結消去前）＞

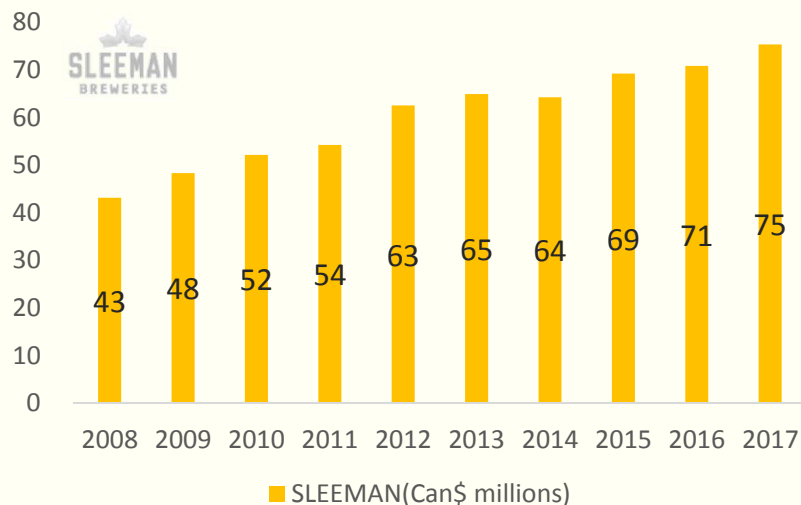


参考資料

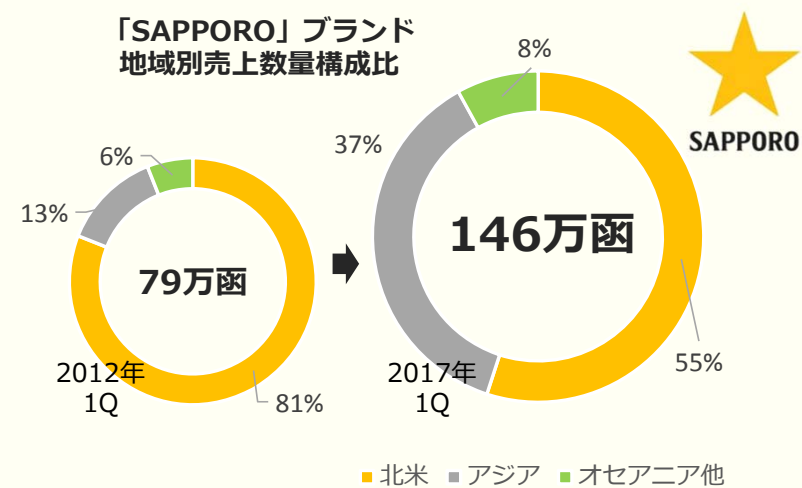
Appendix



＜スリーマン社：現地通貨建て売上高（連結消去前）の推移＞

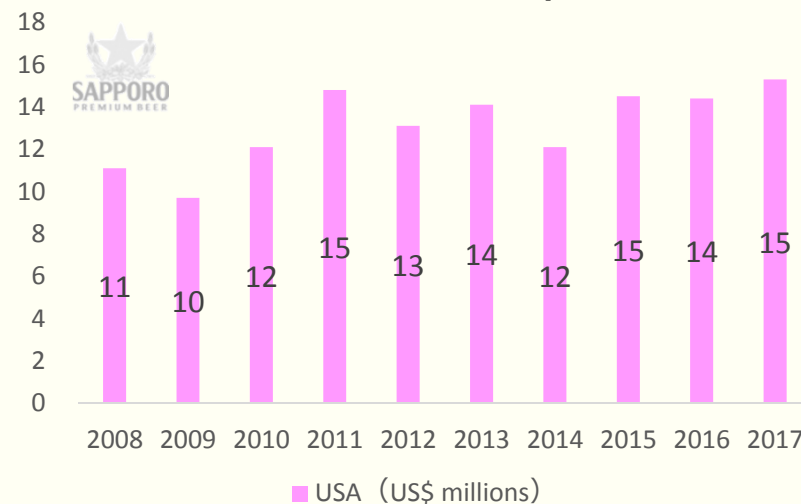


「SAPPORO」ブランド
地域別売上数量構成比

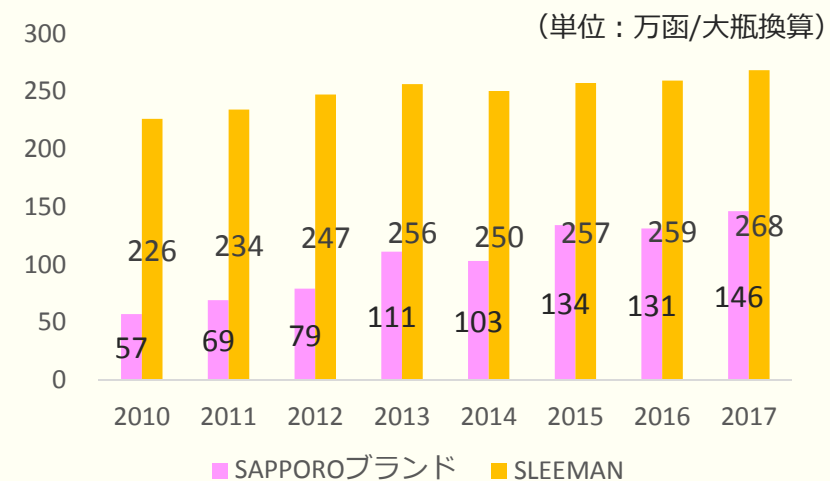


北米：カナダ、アメリカ
アジア：ベトナム、シンガポール、韓国他
オセアニア他：オーストラリア、欧州他

＜サッポロUSA社：現地通貨建て売上高（連結消去前）の推移＞



＜海外ビール売上数量の推移＞



(1~3月累計)

Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved.

【レモン飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**106%**



【スープ】 (売上数量)

✓ 前年同期比**105%**

【レモン飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**116%**

【茶系飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**119%**

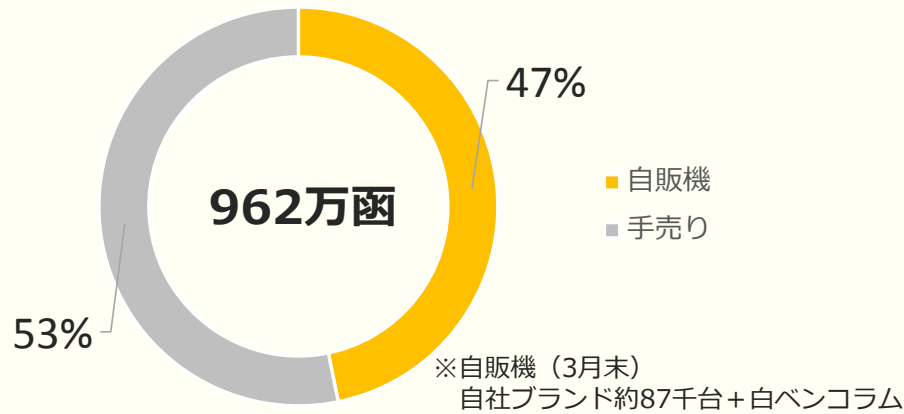
【コーヒー飲料】 (売上数量)

✓ 前年同期比**95%**

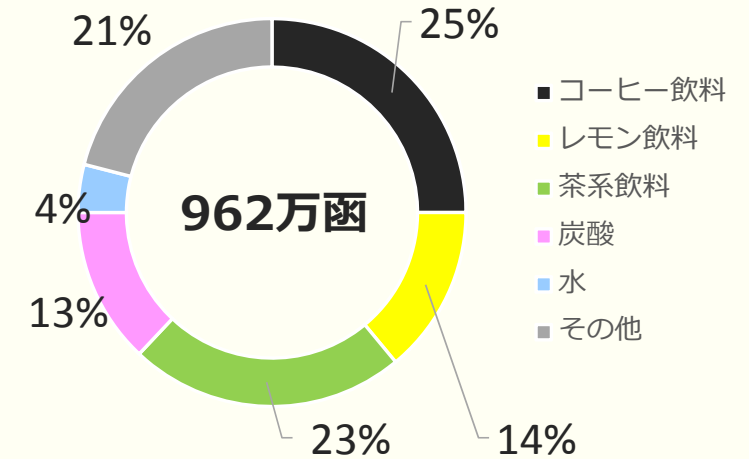
【豆乳事業】

✓ 売上高 約**5**億円

<国内食品飲料事業：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>
国内飲料チャネル別販売数量 構成比



<国内食品飲料事業：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>
国内飲料ジャンル別販売数量 構成比



(1~3月累計)

参考資料

Appendix

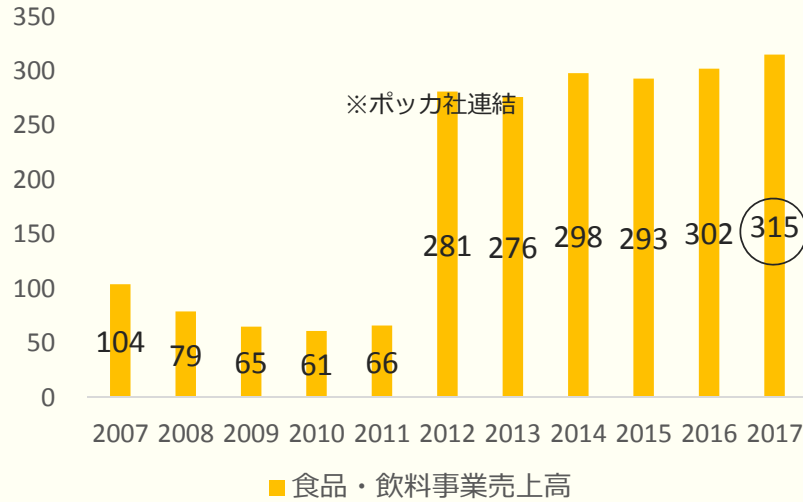


参考資料

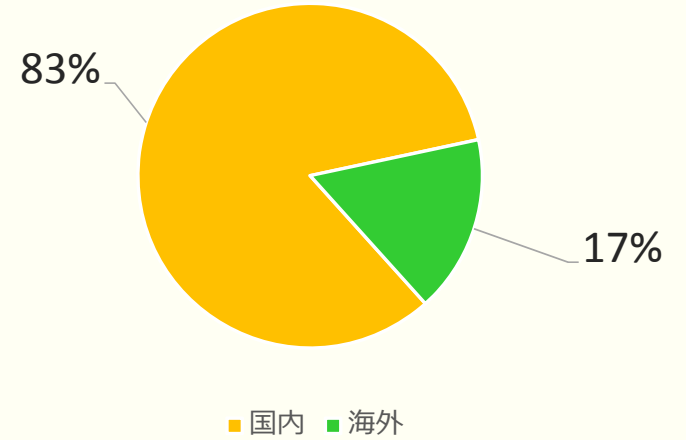
Appendix



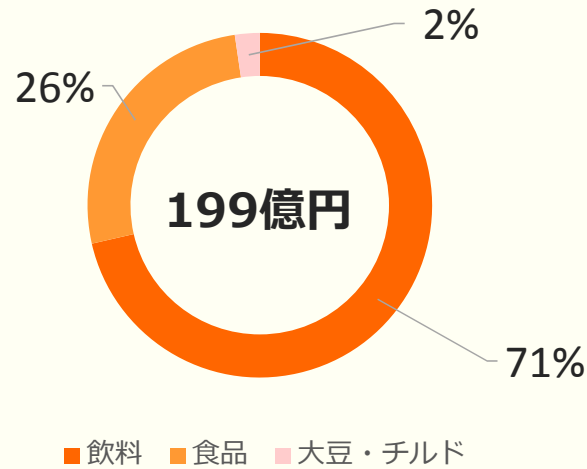
<食品・飲料事業売上高の推移（億円）>



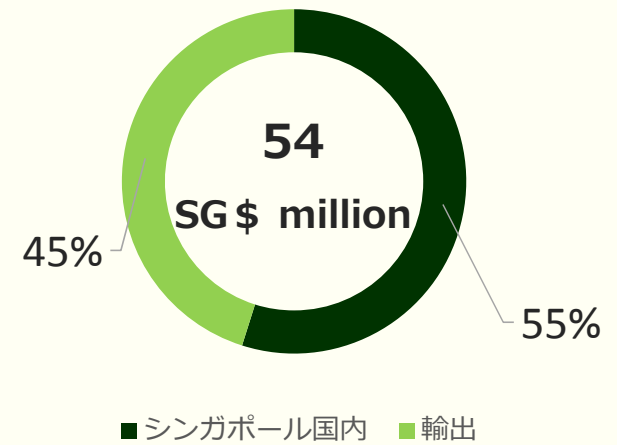
<食品・飲料事業売上高の構成比>



<国内：ポッカサッポロフード&ビバレッジ>
売上高構成比



<海外：ポッカコーポレーション・シンガポール>
売上高構成比（POKKAブランド）



(1~3月累計)



SAPPORO

【(株)ポッカクリエイト】

✓ 売上高**20**億円 前期比**107**%

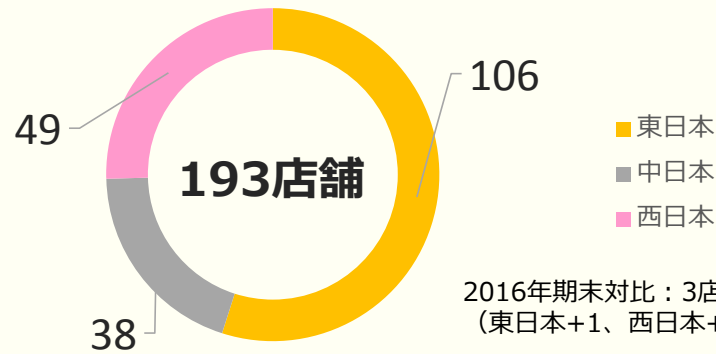


CAFÉ de CRIÉ PLUS

maison de VERRE

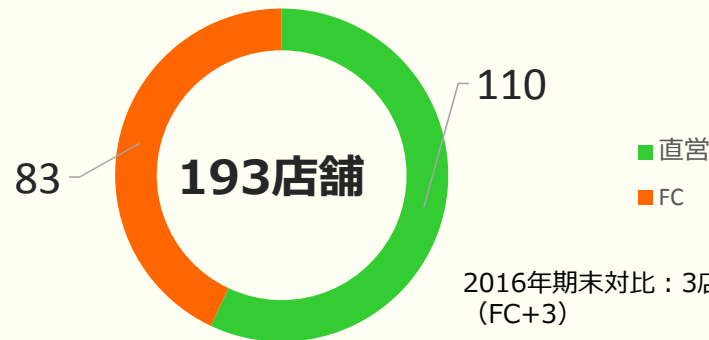


<3月末 地域別店舗数>



2016年期末対比：3店舗増
(東日本+1、西日本+2)

<3月末 直営/FC店舗数>



2016年期末対比：3店舗増
(FC+3)

<新店舗&リニューアル店舗>



参考資料

Appendix





SAPPORO

<2017年1月~3月 主な発売商品>



Ribbon シリーズ
リニューアル



にっぽん烏龍
リニューアル



東京緑茶
リニューアル



日田の梨



じっくりコトコト

左：シャキシヤキコーンの冷たいポタージュ
右：北海道産じゃがいもの冷たいヴィシソワーズ

参考資料

Appendix



左：キレートレモンCウォーター
右：キレートレモンシーサプライ



ワールドレモネード
パクチー&レモネード



レモンの姫



瀬戸内レモン
レモネード



プラス乳酸菌豆乳飲料
シリーズ



じっくりコトコト こんがりパン
左：豆乳仕立てサーモンチーズポタージュ
中：1/3日分の野菜を食べるオニオンポタージュ
右：明太子バター風ポタージュ



リゾランテ
左：濃厚チーズリゾット カップ
右：完熟トマトリゾット カップ



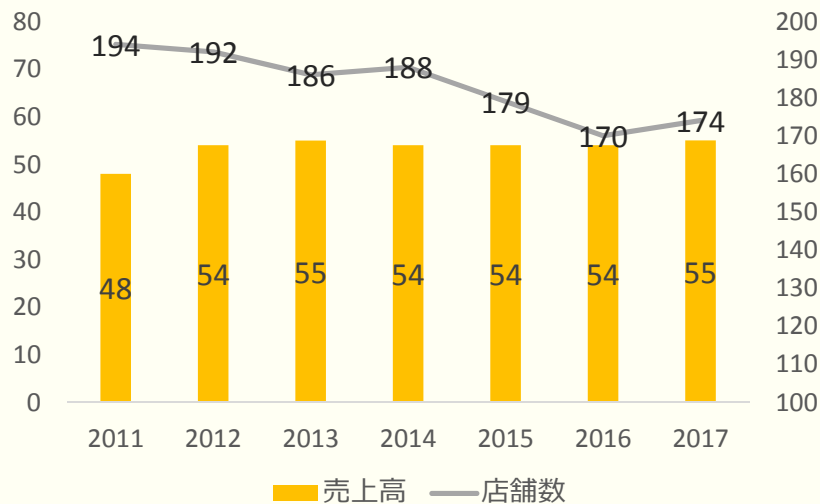
素材屋すらぷ
食べる蓮根どっさりスープ

参考資料

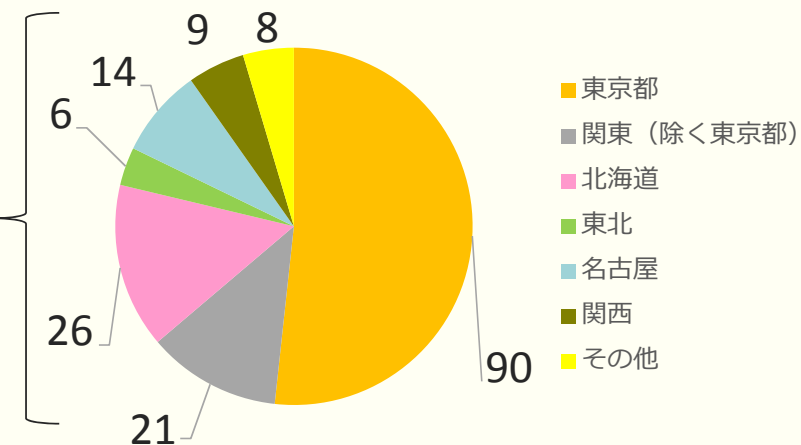
Appendix



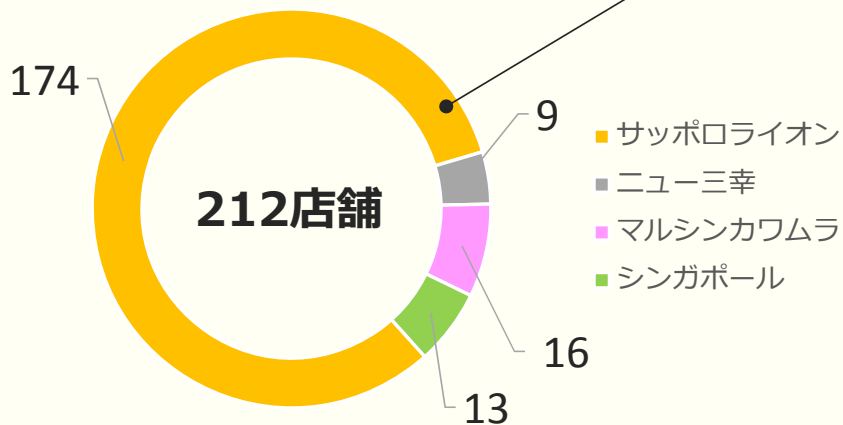
<サッポロライオン単体の店舗数と売上高の推移>



<サッポロライオン単体 店舗数地域別構成比>



<外食事業 店舗数構成比>



<主なブランド一覧>



YEBISU BAR 中四国エリア及び横浜市に初出店



エキシティ広島店



キュービックプラザ新横浜店

- ✓ 2月10日 YEBISU BAR エキシティ広島店OPEN
広島産食材などを使用した料理も提供
- ✓ 3月30日 YEBISU BAR
キュービックプラザ新横浜店OPEN
- ✓ 中四国エリア、横浜市での新たな
「アビス」の発信基地に

<http://www.ginzalion.jp/company/images/pdf/170125.pdf>
<http://www.ginzalion.jp/company/images/pdf/170310.pdf>

シンガポール「とん吉」
改装・リニューアルオープン



- ✓ 伊勢丹スコッツ店、高島屋店を改装
- ✓ オーチャードセントラル店を新業態
「とん吉 北海道」としてリニューアル
- ✓ 「とん吉 北海道」は、
2017年3月27日（月）OPEN

<http://www.ginzalion.jp/company/images/pdf/170323.pdf>

Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved. 37/40

参考資料

Appendix



参考資料

Appendix



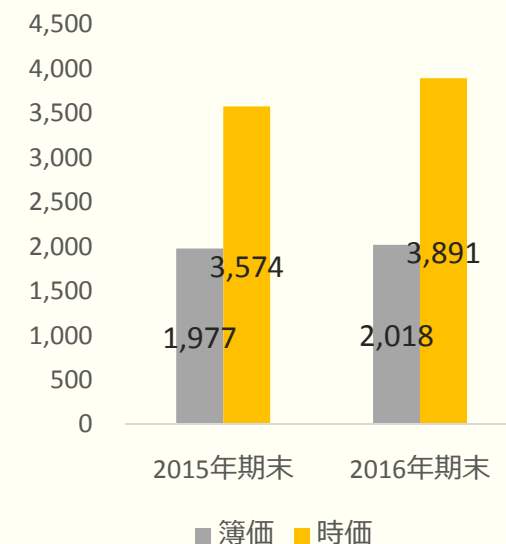
<主要物件概要・稼働率 : (1~3月平均・入居ベース) >

	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	平均 稼働率 (%)	階数
恵比寿ガーデンプレイス ⁽¹⁾	56,943	298,007	99	地下5階 地上40階建
恵比寿ファーストスクエア	2,596	16,012	100	地下1階 地上12階建
恵比寿スクエア	1,561	8,644	100	地下1階 地上7階建
銀座プレイス	645	7,350	97	地下2階 地上11階建
ストラータ銀座 ⁽²⁾	1,117	11,411	100	地下1階 地上13階建

(1) : 「階数」はオフィス棟部分のみ、「稼働率」はオフィス区画にて記載

(2) : 100%持分にて記載。当社持分は、土地922㎡(区分所有)、建物89.72%(共有持分)

<賃貸等不動産期末時価情報>



<営業利益の内訳>

	16年1Q	17年1Q	増減
恵比寿ガーデンプレイス関連	19	21	1
北海道事業	2	3	0
その他物件・事業	4	7	2
全社共通費用	▲1	▲2	▲0
合計	26	29	3

<EBITDAの内訳>

	16年1Q	17年1Q	増減
恵比寿ガーデンプレイス関連	27	28	1
北海道事業	4	4	0
その他物件・事業	6	9	3
全社共通費用	▲1	▲2	▲0
合計	36	40	4

(単位：億円) Copyright, 2017 SAPPORO HOLDINGS LTD. All rights reserved. 38/40

(株) 東京エネルギーサービス 「平成28年度コージェネ大賞」特別賞受賞



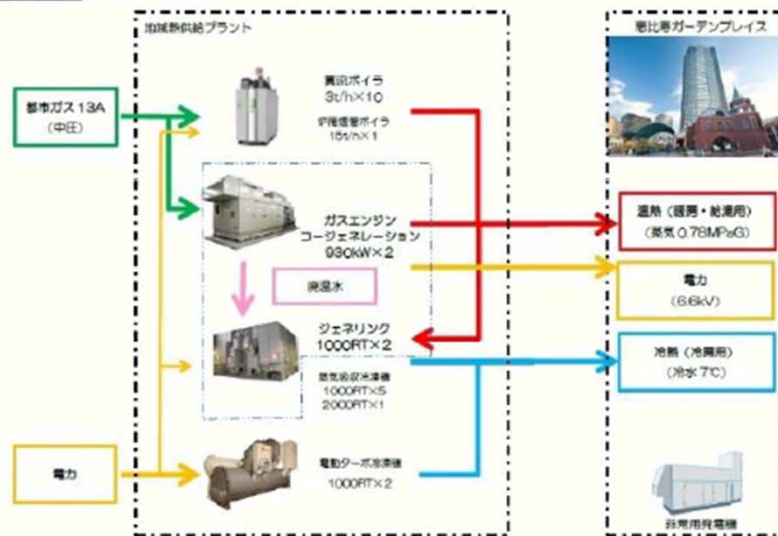
- ✓ 同社は「恵比寿ガーデンプレイス」開業の1994年から、省エネ型の地域冷暖房事業によるエネルギーの面的利用を推進
- ✓ 災害時の機能維持と環境性向上を目的に従来のコージェネレーションシステムをガスタービンからガスエンジンに更新し、更なる省エネ推進を図る
- ✓ 災害時の熱供給を継続することで、地域のBCP対策の強化にも取り組み、これらの取り組みと地域への貢献が評価され特別賞を受賞

参考資料

Appendix



システム概観図



※コージェネレーション

燃料を用いて発電する一方、その排出ガスの排熱を利用して給湯・空調などの熱需要を賅う、エネルギーの効率的運営システムのこと

※BCP

事業継続計画のこと



http://www.sapporo-re.jp/news_release/pdf/20170217/20170217.pdf

潤いを創造し 豊かさに貢献する



本資料で記載している業績予測ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載されている将来見通しとは、大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。